



気持ちのよい学校生活をおくるために！

生徒指導主事 松浦 克也

4月、少し緊張しながらも、新しい学習や活動に前向きに頑張ろうとする子どもの姿を様々な場面で見ることができました。校長先生から、新学期のスタートに当たって、「目を見て笑顔で挨拶できる子100%に」というお話がありました。現在、運営委員会を中心に、あいさつ運動に取り組んだり、挨拶が上手にできた子には「あいさつ名人」のメダルを配ったりするなどの活動を行っています。これらの取組を通して、湯山っ子の挨拶の声も少しずつ大きくなってきました。登下校中、目を見て挨拶ができる子、廊下ですれ違うときに会釈ができる子も増えてきていることを感じています。また、挨拶だけでなく、廊下の右側歩行、靴や雨の日の傘の整頓などについても引き続き全校で取り組んでいきます。これらの生活習慣が整うと、学校の雰囲気も良くなってきます。気持ちの良い学校生活が送れるよう、さらに湯山っ子みんなで協力していきたいと思えます。



【あいさつ運動】



【あいさつ名人のメダル】



【傘の置き方】

【6月13日 人権参観日】

1年生	しんせつにできたら、みんながにこにこのかおになりました。しんせつにできたから、おおかみさんは、ともだちがいっぱいふえるとおもいました。ぼくも、みんなにしんせつにしたいです。
2年生	ともだちと なかよくするために たいせつなことは、あいてのきもちを かんがえたり、おたがいの きもちを つたえあったりすることだと わかりました。
3年生	体育で二人三きやくをしたとき、自分のペースでやってこけたのを思い出しました。心が通じ合うのはむずかしいけれど、ちえとあいちゃんのように友達と心を通じ合わせたいと思いました。
4年生	友達のために、勇気を出して注意することは大切だし、すごいことだと思いました。ぼくも主人公のように勇気をもって「いじめはだめだ。」と言えるようになりたいです。
5年生	みんなで話し合うといろいろな意見が出ました。自分の考えと友達の考えがちがっているのが不思議で、話し合いがとてもおもしろかったです。どの意見も大事で、たくさん学ぶことができました。
6年生	命はお父さんとお母さんからもらったものだし、命は一つしかないものです。その命がずっと昔からつながってきて今ここに自分がいます。自分の命も友達の命も大切して生きていきたいです。
ささのこ	友達のいいところを見つけて言葉にすると、心がぽかぽかしてきました。友達から「やさしいね」と言われると本当にうれしくて、もっと優しくしたいと思いました。